

## 分野:器官系統病態学

主科目 副科目	脳神経外科学 Neurological surgery		区分	選択必修	授業形態	演習 (講義・実習含む)						
担当	教授	准教授	講師	助教	客員教授・その他							
板橋	◎松野 彰 大井川 秀聡 (病院教授) 山根 文孝 (病院教授) 小野田 恵介 (病院教授)	大山 健一	伊藤 明博 廣畑 倫生 宮本 倫行 岩本 直高 宇野 健志		嘉山 孝正 孫 宰賢 内田 耕一	(客員教授) (非常勤講師) (非常勤講師)						
-												
-												
	脳神経外科学Ⅰ (1年次)			脳神経外科学Ⅱ (2年次)			脳神経外科学Ⅲ (3年次)					
	単位	4単位	配当年次	1年・通年	単位	4単位	配当年次	2年・通年	単位	4単位	配当年次	3年・通年
概要	<p>神経学、神経科学について講義を行う。 演習として、お互いが被検者となって神経学的所見・診察方法について習得する。 実習として、臨床カンファレンスを通じて、入院患者の病態の把握を行う。 病棟担当医の指導のもと、入院患者の神経学的所見・診察を行う。同時に入院患者の画像診断についても病棟担当医が指導を行う。病棟担当医・病棟医長・診療科長の指導のもと、入院患者の手術に参加し、実際の手術手技の習得を行う。</p>			<p>主として神経放射線検査・画像所見について各疾患ごとに講義を行う。 演習として、各疾患の画像所見について、実臨床例を題材に実践的な習得を行う。 実習として、臨床カンファレンスを通じて、入院患者の病態の把握を行う。そして診療方針・治療方針が自分で計画できるようにする。 病棟担当医・病棟医長・診療科長の指導のもと、入院患者の手術に参加し、開頭術を中心に実際の手術手技の習得を行う。</p>			<p>病棟担当医・病棟医長・診療科長の指導のもと、入院患者の手術に参加し、主として、神経内視鏡手術、脳神経血管内治療手技の習得を行う。 また外来診療においても、患者の病態の把握、検査の立案、治療方針の立案ができるようにする。 診療科長の指導のもと、疾患の病態解明を行う。</p>					
到達目標	<p>自立した脳神経外科医となるために必要な幅広い知識および技術、基本的な脳神経外科手術を習得することを目標とする。</p>			<p>神経放射線検査・画像所見についての知識の習得、開頭術を中心とした基本的な脳神経外科手術の習得を目標とする。</p>			<p>神経内視鏡手術、脳神経血管内治療について基礎的手技の習得を目標とする。</p>					
事前事後学修	<p>症例の的確な把握 1回の授業に対して、予習・復習それぞれ30分程度が必要である。</p>			<p>神経科学への関心と問題意識の確立 1回の授業に対して、予習・復習それぞれ30分程度が必要である。</p>			<p>脳神経疾患の病態解析 1回の授業に対して、予習・復習それぞれ30分程度が必要である。</p>					
評価方法	<p>受講態度 20% (発表、課題提出、リアクションペーパー) レポート 80%</p>			<p>受講態度 20% (発表、課題提出、リアクションペーパー) レポート 80%</p>			<p>受講態度 20% (発表、課題提出、リアクションペーパー) レポート 80%</p>					

## ■主な演習(講義・実習含む)

	脳神経外科学Ⅰ (1年次)	脳神経外科学Ⅱ (2年次)	脳神経外科学Ⅲ (3年次)
板橋	月 曜日 8 : 30 ~ 10 : 00 臨床神経学	月 曜日 8 : 30 ~ 10 : 00 臨床神経学	月 曜日 8 : 30 ~ 10 : 00 臨床神経学
	月 曜日 10 : 00 ~ 17 : 00 病棟実習・手術	月 曜日 10 : 00 ~ 17 : 00 病棟実習・手術	月 曜日 10 : 00 ~ 17 : 00 病棟実習・手術
	火 曜日 8 : 30 ~ 17 : 00 神経診断学	火 曜日 8 : 30 ~ 17 : 00 臨床データ解析の基礎	火 曜日 8 : 30 ~ 17 : 00 臨床データに基づく研究
	曜日 : ~ : 曜日 : ~ : 曜日 : ~ :	曜日 : ~ : 曜日 : ~ : 曜日 : ~ :	曜日 : ~ : 曜日 : ~ : 曜日 : ~ :
曜日 : ~ : 曜日 : ~ : 曜日 : ~ :	曜日 : ~ : 曜日 : ~ : 曜日 : ~ :	曜日 : ~ : 曜日 : ~ : 曜日 : ~ :	

## 教科書・参考書

金芳堂 脳神経外科学

## その他履修上の注意事項

中国・ハルビン医科大学・天津医科大学、台湾・台北医科大学・義守大学、フィリピン大学などの各脳神経外科との国際交流、国内研修施設や関連施設での臨床および研究、海外学会への参加・講演。  
試験やレポート等に対し、講義の中での解説等のフィードバックを行う。  
この科目と学位授与方針との関連をカリキュラムマップを参照し理解すること。

関連科目	副科目	神経内科学系、放射線診断学・放射線腫瘍学、リハビリテーション医学、精神神経科学、内科学系、生理学系、人体病理学・病理診断学など関連領域を1科目以上、3か月コースまたは講義・演習コースにて履修する。月曜日17時半~20時の脳神経セミナー(年5~6回)の講義と神経内科・放射線科との合同画像カンファレンス(月2回)を合わせて副科目とすることができる。
	共通科目	基礎・臨床神経学特論(必修)

## 関連する専門医資格

- ・脳神経外科専門医(日本脳神経外科学会)・・・会員歴4年以上。経験6年以上。HP:<http://jsn.umin.ac.jp/>
- ・脳神経血管内治療専門医(日本脳神経血管内治療学会)・・・会員歴4年以上。経験6年以上。脳神経外科専門医資格などを有すること。HP:<http://www.jsnet.umin.jp/>
- ・脳卒中専門医(日本脳卒中学会)・・・会員歴3年以上。脳神経外科専門医資格などを有すること。日本脳卒中学会認定研修教育病院で、通算3年以上の研修歴があり、現在脳卒中診療に従事していること。HP:<http://www.jsts.gr.jp/>
- ・神経内視鏡学会技術認定医(日本神経内視鏡学会)・・・経験症例数術者10例・助手10例以上、学会参加2回以上、学会認定講習会受講2回以上、脳神経外科学会専門医であること。

## キャリアパス(モデルコース)

